



Title	創刊によせて
Author(s)	赤木, 攻
Citation	大阪外国語大学アジア学論叢. 1991, 1
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/99634
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

創刊によせて

大阪外国語大学に、アジアを対象としている研究者の小さなグループが誕生したのは、1974年5月のことであった。「アジア研究懇話会」と称したそのグループは、1978年2月には「アジア研究会」と改称し、本格的な研究活動を開始した。以後、東アジアから中近東までの広い地域の課題に接近を試みている者の緩やかなネットワークとして、研究例会を重ねる一方で研究成果を公刊するなど地道な活動を続け、今日に至っている。

ところで、大阪外国語大学の使命は「外国語＝Foreign Studies」にある。別の言葉では、「地域研究」ないしは「外国研究」といえるかも知れない。世界秩序の大きな変動期にある今日、アジアを対象とする地域研究は重要性を加速的に増してきている。こうした新たな学問の潮流は、どちらかといえば西欧の学問に傾倒してきた日本の社会科学や人文科学研究の枠組みに批判を加え、新たな地平を切り拓く役割を担っている証左であろう。

もし、大阪外国語大学の独自性を主張するアジア研究を求められるならば、＜ことば＞を十分に生かし各社会の内在論理を発掘し普遍へ突き合わせることで貢献する以外にない。私たちは、そうした学風を築くことを目標にしている。それが、ここに、『大阪外国語大学アジア学論叢』と称するささやかな作品を創り出した所以でもある。もちろん、定期的に刊行するだけの財政的基盤を有しているわけではない。だから、不定期的にならざるを得ないが、私たちの「アジア学」を世に問うために、今後はこの形にまとめて成果を発表していくことにしたい。

この創刊号は、平成2年度特定研究費（学内）助成のおかげである。多くの方々からの批判を持ち望んでいると同時に、収められた各々の成果に私たちの「アジア学」を少しでも感じとっていただけたら、望外の喜びである。

1991年3月

大阪外国語大学アジア研究会

代表 赤木 攻